

山柔協第24-351号
令和7(2025)年1月11日

各市柔道協会等団体の長様
各チーム(小学生関係)の長様

一般社団法人山口県柔道協会
会長 正司直樹
(会長印を省略しています。)

第45回全国少年柔道大会山口県予選会の開催について

当協会の事業については、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、標記予選会を、別添の要項により開催することにしましたので、下記に留意の上、参加申込等をお願いします。

記

1 選手の健康管理等について

チームの責任者におかれましては、選手の状態と、選手とその保護者の意向を十分確認したうえで、大会に参加すること。

なお、申し込み後の出場辞退については、試合当日においても受付け、その参加料については徴収しません。

2 全国大会について

全国少年柔道大会(5月4日(日/祝)・5日(月/祝)講道館新館7階大道場)の要項を添付しますので、あらかじめ、山口県予選会の参加にあたって、選手に周知をお願いします。

3 申込締切

1月31日(金)

※ 問合せ先

(一社)山口県柔道協会事務局長 宮崎俊彦 電話：083-924-9510

第45回全国少年柔道大会山口県予選会実施要項

- 1 目的 柔道の基本技術を正しく修得するとともに、柔道の試合等を通じて心身の鍛練及びその技能を磨き、明るく、正しく、たくましい小学生児童の健全育成と相互親睦を図ることを目的として全国大会の山口県予選会を開催する。
- 2 主催 一般社団法人山口県柔道協会
- 3 主管 防府市柔道協会
- 4 期 日 令和7年3月16日（日）午前8時開館 9時00分開始
※ 受付・計量 午前8時から8時45分まで
※ 計量 チームごとに同学年内の体重順の配列の確認等を行います。
- 5 会 場 キリンレモンスタジアム武道館（防府市武道館）
防府市浜方174-1（電話0835-24-6000）
- 6 参加資格 (1) 1団体1チームとする。
(2) 参加する選手は、**令和7年4月30日現在で**、小学校5年生・6年生の男女とする。但し、5年生の補充として4年生をもって充てることができるが、3年生以下の出場は認めない。
(3) 出場するチームは、(公財)全日本柔道連盟に団体登録をしていること。また、選手はその団体から登録をしていること。
(4) 参加チームの監督は、(公財)全日本柔道連盟に登録をしていること。
(5) この要項の遵守事項等（15）を承諾すること。
- 7 チーム編成 (1) チームの編成は団、または道場単位とする(混成チームは認めない)。
(2) 1チームの人員は監督1名、選手5名、補欠2名とする。**(選手が4名以下の場合には出場できない。)**
(3) 選手の編成は大將・副將・中堅は6年生。次鋒・先鋒は5年生または4年生とし、学年順に配列する。ただし、下学年の児童が一学年上の児童の位置に出場することはできる。
また、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。(体重順は、当日の計量結果による。)
(4) 初戦の選手の変更は受付で届けること。2戦目以降の選手変更は概ね直前の団体戦の開始前に、対戦する試合場に届け出ること。ただし、団体戦が連続する場合は、前の対戦終了後直ちに届け出ること。
(5) 選手・補欠の変更は、原則として認めない。
(6) 一旦退いた選手は、その後の試合に出場することはできない。
- 8 試合方法 (1) 試合は、トーナメント戦とする。
(2) 各チーム5名の点取り対抗戦とする。
(3) チーム間の勝敗決定の方法は、次のとおりとする。
①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
②勝ち数が同じときは内容(「一本勝ち」(一本勝ち相当の勝ちを含む)「技有り」の勝ち数)による。

③内容も同じときは、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで2分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。(GSは行わない。)

- 9 審判規程 (1) 国際柔道連盟試合審判規程、国内における「少年大会特別規定」および大会申し合わせ事項による。
(2) 試合時間は**3分間**とする。
(3) 勝敗の決定基準
勝敗の決定基準は「一本」「技有り」「僅差」※とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
- 10 表彰 (1) 第1位から第3位までを表彰する。
(2) 第1位のチームには全国大会の出場権を与える。
- 11 参加料 1チーム4,000円を大会当日受付で納入すること。
- 12 申込方法 (1) 所定の参加申込書により申し込むこと。(電子メールでお願いします。)
(2) 申込先 一般社団法人山口県柔道協会
電子メールアドレス **yjk@c-able.ne.jp**
(3) 申込締切 **1月31日(金)**必着
- 13 組合せ 主催者が行う。
- 14 保険 各チームは、スポーツ傷害保険等に加入しておくこと。選手は健康保険証等を必ず持参すること。
- 15 遵守事項等 選手および指導者は下記事項を遵守すること。
(1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
(2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
(3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
(4) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
(6) 大会中の事故等については、各団体にて加入の保険の範囲内での適用になります。保障内容が不足と思われる場合は、各団体、保護者等にて別途保険に必ず加入して参加すること
(7) 大会出場中の映像・写真・記事・氏名・記録等のテレビ・ビデオ・新聞・雑誌・インターネット・広告等への掲載を了解すること
- 16 問合せ先 一般社団法人山口県柔道協会事務局 担当 宮崎

電話・FAX 083-924-9510

<お願い>

① 本大会は、身体的にも精神的にも発育途上の小学校児童の大会であることを常に念頭におかれて、特に危険防止について考慮してください。特に、試合出場については、初心者は少なくとも6カ月経過後としてください。また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢・組み方についても御配慮・御指導をお願いします。

② **全国少年柔道大会山口県予選会の帯同審判員について**

大会の円滑な運営のため、帯同審判員の御協力をお願いいたします。

つきましては、御協力いただける帯同審判員について、申込書の帯同審判員表に記載の上、事務局に提出をお願いします。

(なお、当日は8:20までに受付を済ませてください。午前中に終了予定です。)

第45回 全国少年柔道大会 要項案

1. 目的 柔道の基本技能を正しく修得し、わが国の将来をになう心身ともに健康な小学生児童を育成するとともに、相互の親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 全日本柔道少年団、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、読売新聞社
3. 後援 スポーツ庁、東京都教育委員会、NHK、
一般財団法人東京スポーツ新聞格技振興財団
4. 共同主管 公益財団法人東京都柔道連盟、東京都柔道少年団
5. 期 日 (1) 2025年5月4日(日/祝) 合同錬成 午後2時～4時 (事前申し込み)
(講道館指導員・全柔連強化コーチ及び強化選手並びに大学生による基本錬成、技の解説、指導稽古)
各チームの指導者も合同錬成時は柔道衣を着用して参加すること。
(2) 計量 合同錬成終了後、選手全員の計量を行う
(3) 2025年5月5日(月/祝) 試合錬成 午前10時開始 午後6時終了予定
6. 会 場 講道館 新館7階 大道場 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30
大会事務局 : 03-3818-5639/4246 講道館道場受付 : 03-3818-4893
7. 参加資格 (1) 各都道府県柔道連盟(協会)の選考により、1チームが代表参加する。
但し、開催地は2チームとする。
(2) 参加する選手は、原則として2025年4月30日現在、小学校5年生・6年生の男女。
但し、5年生の補充として4年生は出場できるが、3年生以下の出場は認めない。
(3) 出場チームは、全日本柔道連盟に団体登録し、選手はその団体でメンバー登録をしていること。
(4) 参加チームの監督は、全日本柔道連盟公認指導者資格【C指導員】以上を保有していること。
C指導員以上の資格保有者がいない場合でも、監督としてC指導員以上を保有した者がエントリー及び帯同しなければならない(全柔連登録団体が参加チームと異なっても可)。
(5) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
8. チーム編成 (1) チームの編成は分団、または道場単位とする(混成チームは認めない)。
(2) 1チームの人員は監督1名、選手5名、補欠2名とし、申込後の変更はできない。
(3) 選手の編成は大將・副將・中堅は6年生。次鋒・先鋒は5年生とし学年順に配列する。
ただし、下学年の児童が一学年上の児童の位置に出場することはできる。
また、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。
(4) 選手の変更は、エントリーしている補欠からに限り行うことができる。
この場合も、選手は各学年順に配列し同学年内は「体重順」に配列すること。
補欠の補充はできない。
(5) 計量結果に伴う選手の配列変更は大会前日の計量時に行うこと。
(6) 2戦目以降の怪我による選手の配列変更は認める。ただし、(3)に定められた編成(学年順)内で配列すること。変更については配列決定後、各試合場に届け出ること。
(7) 一旦退いた選手は、その後の試合に出場することはできない。
9. 試合方法 (1) 試合は、3チームによるリーグ戦と、リーグ戦1位チームによるトーナメント戦で行う。
(2) 各チーム5名の点取り対抗戦とする。
(3) チーム間の勝敗決定方法は、次のとおりとする。
 - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ② 勝ち数が同じときは内容(「一本勝ち」「技有り」の勝ち数)による。
 - ③ 内容も同じときは、リーグ戦においては引き分けとし、トーナメント戦においては代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で

1組を選んで通常の3分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。(GSは行わない)

- (4) リーグ戦における順位決定は次のとおりとする。
- ア. 2勝、1勝1引分け、1勝1負、2引分け、1引分け1負、2負の順位とする。
 - イ. アで同等の場合は、リーグ戦を通じて(ウ以下同様)勝者総数の多いチームを上位とする。
 - ウ. イで同等の場合は、「一本勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。
 - エ. ウで同等の場合は、「技あり優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。
 - オ. エで同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。
 - カ. オで同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
 - キ. カで同等の場合は、「技あり」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
 - ク. キで同等の場合は、抽選によって順位を決定する。

10. 審判規定
- (1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における少年大会特別規程による。
 - (2) 試合時間は3分間とする。
 - (3) 勝敗の決定基準

勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」※とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

11. 表彰
- (1) 第1位から第3位までを表彰する。
 - (2) 技術優秀賞10名を表彰する。

12. 申込方法
- (1) 所定の申込フォームに入力し「moshikomi@tojuren.or.jp」までExcelデータで提出。
都道府県柔道連盟(協会)は代表チーム決定後、要項及び申込フォームをご提供いただくか代表チーム報告書をご提出ください。代表チーム宛に申込フォームを送信いたします。
 - (2) 問い合わせ先：第45回全国少年柔道大会 事務局 (主管：(公財)東京都柔道連盟)
TEL 03-3818-5639 または03-3818-4246、080-3505-4985
 - (3) 申込締切り 2025年4月7日(月) まで

13. 組み合わせ 2025年4月10日(木) 大会事務局において主催者が行う。

14. 保険 傷害保険(試合のみ)

- (1) 参加者全員が傷害保険に加入し、その費用は主催者が負担する。
なお、大会出場にあたり健康状態に異常が無い、また怪我等のないことをチーム内で確認すること。必要に応じて医師の診断を受けること。(診断書等の提出は不要)
- (2) 参加者は健康保険証を必ず持参すること。
- (3) 試合中に負傷した場合は必ず救護室で受診し、負傷者報告書を作成すること。

15. 旅費の補助
- (1) 監督1名・選手5名の旅費は、大会旅費規定により各道府県庁所在地から東京電環までの普通往復運賃を主催者が負担する。(補欠2名は除く) **但し、沖縄県の旅費については航空券代の領収書を監督会議前までに提出。普通運賃と実費のどちらか安価な方で支給する。**
 - (2) 旅費は5月4日、監督会議前に支給する。(監督は当日、印鑑持参のこと)

16. その他
- (1) 大会当日の昼食(監督1名・選手5名・補欠2名 計8名分)は主催者が弁当を用意する。
(昼食会場：講道館新館2階教室 *観客席・練習会場での飲食は不可)

- (2) 観客の入場については下記の通りとする。
各チーム9席の指定席確保といたします。(座席に県名・チーム名貼付)
- (3) 少年団旗を持参すること。(旗のみ、棹は不要) *チーム旗の持ち込みは不可。

- (4) 諸会議等

- ① 監督会議 5月4日 午後5時00分 講道館 新館2階 教室
- ② 審判会議 5月5日 午前9時00分 講道館 新館2階 教室

(5) 柔道衣について

原則として柔道衣の袖・裾の折込みは禁止とする。また、前合わせについては十分な重なりがあること。認証柔道衣の使用は義務付けない。ただし、製造者マークについては全柔連の規定を遵守する。*肩に三本線が入ったアディダスの柔道衣は認めない。

柔道衣及び女子のインナーは白色のみとする。

(6) ゼッケン(都道府県名と名字入り)を、柔道衣に着けて試合すること。

ゼッケンを着けていない選手は出場できない。

途中で外れることのないよう、しっかりと縫い付けること。

① 布地は白色(晒・太綾)

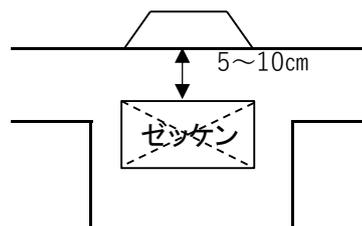
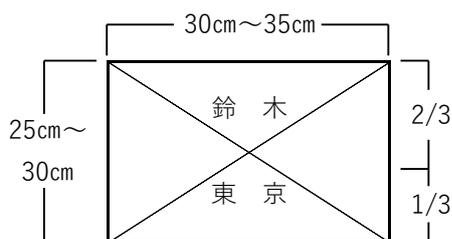
② サイズは概ね横30cm~35cm、縦25cm~30cm

③ 名字(姓)は上側2/3、都道府県名は下側1/3

④ 書体は太いゴシック体または明朝体で、男子は黒色、女子は濃赤色。

⑤ 同姓で同性の場合は名前の一文字を加えてください。(例:東京 太)

⑥ 縫い付けの場所は後ろ襟から10cm、対角線にも強い糸で縫いつける。



(7) 怪我防止のため、爪は短く切り添えること。

長い髪は束ねること(束ねた髪が長い方は更に折り返して結ぶなど相手の目に髪の毛が入る、当たることがないように配慮する。怪我防止のためヘアアクセサリは使用禁止。

17. 脳震盪対応について

ジュニア(20歳未満)以下の選手および指導者は下記事項を遵守すること。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。

18. 個人情報、肖像権の取り扱いについて

① 参加申込用紙に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・全柔連ホームページ・大会ホームページ・セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。

② 全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

③ 大会時に撮影する映像(ケアシステム等)を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。

19. 指導者のみなさまへ

本大会は、身体的にも精神的にも発育途上の小学生児童の大会であることを常に念頭におかれて特に危険防止について考慮されたい。また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢・組み方についてもご配慮・ご指導をお願いしたい。